

令和7年度第1回総合型地域スポーツクラブ専門委員会
議事要旨

日時 令和7年7月3日（木）午後3時から午後4時
場所 県民総合運動公園陸上競技場内1階102会議室
出席者 本田幸範、木村和弘、立木宏樹、河野真介、松田直浩、西田由実、上村和弘（委員6人）
池田将文（オブザーバー1人）
平江公一、野島弘宣、坂口尚子（事務局3人）

<会議内容>

- 1 開会
- 2 あいさつ（本田委員長）
- 3 委員紹介（各委員から自己紹介）
- 4 議長選出（本田委員長）
- 5 内容

（1）令和6年度事業報告及び決算：資料P3～12

[会議関係]

・各種会議（専門委員会、部会、日本スポーツ協会関連会議）を実施。

[ヒアリング関係]

・県内21の活動クラブ、設立検討団体、市町村に対し延べ100回以上の訪問。

[事業関係]

・地域スポーツマネジメント講習会や指導者派遣事業などを実施。アシスタントマネージャー資格取得者11名、事業参加者延べ1034名。

・総合型クラブの活性化事業では3クラブに計113,299円の補助金を支給。

・総合型クラブプロモーション事業ではクラブの認知度向上のため、PR動画の制作とSNSの有料広告を行いクリック率1.72%と良好な結果を示した。

[全国協議会登録・認証関係]

・全国協議会の登録は37クラブに減少。

[決算]

・令和6年度の総支出額は9,323,077円。

（2）令和7年度の事業計画と予算：資料P13～18

[事業関係]

・地域スポーツ振興「講師等派遣事業」は派遣者を指導者だけでなく、研修会講師やトップアスリートにも拡大する。

・総合型地域スポーツクラブ活性化事業は、マーケティング専門家の派遣によるクラブ経営サポート（2クラブ予定）に内容を変更する。

・県内クラブ交流事業は、視察研修1回、交流研修3回（行政担当者も参加を想定）を実施する。

・地域スポーツ指導者研修会では、中学校運動部活動の地域移行に必要な知識習得に重点を置いた研修を計画中。

・総合型クラブの認知度向上のため、各クラブのPR動画（約60秒のショート動画）を15クラブ程度制作しSNSでの広報活動とノウハウ共有のための上映会を計画。

[予算]

・10,482,000円を計上。

(3) 登録・認証制度の現状：資料P19～20、別添パンフレット

2025年度から全国協議会による「認証制度」が開始された。現状では「部活動地域展開タイプ」のみで、県内クラブからの申請はなかった。認証を受けるには、クラブが地域部活動の主要な運営主体となるなどハードルが高い。「介護予防タイプ」や「障害者スポーツ推進タイプ」も検討されているが、具体的な要件はまだ不明確である。

6 その他

SC 全国ネットワークでの議題を西田委員から報告。男女比率を平等に引き上げるため、クォーター制度の導入が全国ネットワークの総会で大きく取り上げられ、各地域での意見収集を進める方針が示された。

7 閉会